



次世代型高性能 GPU サーバー対応のハウジングサービスについて ～宮城 AI データセンターが竣工、7 月 31 日よりサービス提供開始～

東北電力株式会社（本店：宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員：石山 一弘、以下「東北電力」）は、株式会社ゲットワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役：中澤 秀則、以下「ゲットワークス」）と締結した覚書^{※1}に基づき、2026 年 7 月 31 日から、次世代型高性能 GPU サーバー^{※2}に対応したハウジングサービス^{※3}（以下、「本サービス」）の提供を開始いたします。

本サービスは、東北電力が宮城県宮城郡七ヶ浜町内に保有する遊休地に新設したコンテナ型データセンター「宮城 AI データセンター」において提供するもので、本日、同データセンターが竣工いたしました。

近年、生成 AI の急速な普及に伴い、次世代型高性能 GPU サーバーの需要が拡大しています。一方で、GPU サーバーの運用には安定稼働を支える電源や高効率な冷却設備が必要であり、こうした環境を確保することが企業や研究機関、AI 開発事業者などにとって大きな課題となっています。

本サービスでは、お客さまが所有する次世代型高性能 GPU サーバーを、専用設計のコンテナ型データセンター内に設置いたします。安定稼働を支える電源確保や高効率な冷却設備に加え、低遅延ネットワーク環境を提供することで、生成 AI や AI 開発基盤の迅速かつ安定的な構築を支援いたします。

東北電力は、2025 年 2 月 20 日から提供している GPU クラウドサービス^{※4}と本サービスの両輪により、AI 開発から運用までを支えるインフラを提供してまいります。これにより、東北 6 県・新潟県をはじめとする国内における生成 AI の利活用促進、DX の加速、産業競争力の向上および新たな電力需要の創出に貢献してまいります。

ゲットワークスは、「宮城 AI データセンター」におけるコンテナ型データセンターの構築や、東北電力との営業活動における連携により、お客さまの GPU 活用を支援してまいります。また、同データセンターを起点として東北 6 県での拠点拡充を目指すとともに、新潟県湯沢町および北海道苫小牧市の拠点との相互接続により、GPU サーバーの分散利用に対応した環境整備に取り組んでまいります。

※1 東北電力とゲットワークスがハウジングサービスの提供を目指すために締結した覚書。

[\(2026 年 1 月 9 日お知らせ済\)](#)

※2 生成 AI の計算に必要な GPU (Graphics Processing Unit) を搭載したサーバーであり、従来のサーバーより消費電力が増え、より高度な冷却方法が求められる。

※3 お客さまが所有する GPU サーバーを、東北電力が用意するコンテナ型データセンターへ設置するサービス。

※4 遠隔地にいるお客さまに対して、インターネット経由で GPU の計算力を貸し出すサービス。

[\(2025 年 2 月 20 日、2025 年 7 月 14 日お知らせ済\)](#)

【宮城 AI データセンター外観写真】



宮城 AI データセンター（外観）



宮城 AI データセンター（外観・上空）

以 上

（別紙）「ハウジングサービス」および「宮城 AI データセンター」の概要について

「ハウジングサービス」および 「宮城AIデータセンター」の概要について

2026年7月24日
東北電力株式会社
株式会社ゲットワークス



より、そう、ちから。

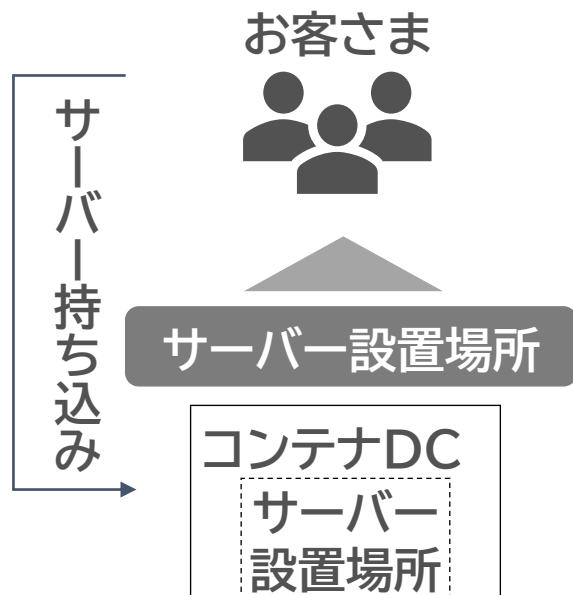
東北電力

×



- ✓ お客さまのGPUサーバーの設置場所を、宮城AIデータセンター内で提供するサービス
- ✓ AI向けの次世代型高性能GPUサーバー(NVIDIA製 H200、B300等)に対応
- ✓ コンテナ型のため、お客さまのご要望をふまえて使用電力等をカスタマイズ可能

サービスのイメージ



ご利用開始までのプロセス

- | | |
|-------|---|
| 要件確定 | 設置するサーバー、ラック台数、利用期間などを擦り合わせ |
| 御見積 | 確定した要件をふまえて、御見積を提示 |
| 契約締結 | 契約内容を協議、整い次第締結 |
| サーバ設置 | お客さまにてGPUサーバーを搬入、電気・回線などを接続
(東北電力立ち会い) |
| 利用開始 | 問題なくGPUサーバーが稼働できていることを確認でき次第、
ご利用開始(要件確定から利用開始まで概ね数カ月程度) |

お問合せ先 東北電力株式会社 DX推進部

TEL: 022-799-6111

メールアドレス: s.gpucloud.wz@tohoku-epco.co.jp

- ✓ 次世代型高性能GPUサーバーに対応可能なコンテナ型データセンター（竣工:2026年7月24日）
- ✓ 最新のGPUに合わせて、迅速かつ柔軟に構築可能

宮城AIデータセンターの主な特長

- ✓ 次世代型高性能GPUサーバーに対応した設備構成（安定稼働に必要な電源や高効率な冷却設備など）
 - ・増強可能な受電設備、予備設備を1台追加した空調設備の構成に加え、将来的な水冷対応を見据えた冷却設備を採用。
- ✓ 安定かつ低遅延（低レイテンシー）な通信環境
 - ・推論処理や分散計算など、大規模なAIワークロードにおいて、安定したデータ通信環境を提供。
 - ・複数拠点のクラウド基盤やデータセンターとの高速接続を可能とするネットワーク環境を整備予定。
- ✓ コンテナ型データセンターによる短工期と高い柔軟性を実現
 - ・従来型データセンターと比較して短期間での環境構築・利用開始を実現。
 - ・将来的なGPUの高性能化やサーバー増設にも柔軟に対応できる拡張性も備える。

宮城AIデータセンターの仕様

所在地	宮城県宮城郡七ヶ浜町	通信	1G×2回線（2027年度より10G予定）
利用単位	ラック単位/コンテナ単位の両方可能	セキュリティ	ICカード付扉、監視カメラ等
耐荷重	2t/m ²	災害リスク	全災害ハザードマップ対象外
受電	コンテナあたり50kW（増強も可能）	保守	24時間/365日 監視、即時駆け付け
空調	N+1冗長（予備設備1台）構成	その他	ご要望に合わせて使用電力等をカスタマイズ可能
冷却方法	空冷（将来的には水冷にも対応予定）		

- ✓ 国は2030年代のAI社会に向けて、データセンターの分散立地を検討
- ✓ 東北電力は国の方針に基づき、東北6県・新潟県を中心とした地域のDX推進を目指す

経済産業省・総務省「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合 中間とりまとめ3.0」より

2030年代のAI社会に向けた施策案(抜粋)

(1)データセンターの分散立地の更なる推進

- 地域におけるエコシステムを支える基盤としてのデータセンターの地域分散に向けた政策的支援
- あらゆる社会活動へのAI利活用と高度なサービスの実装を地域においても東京圏・大阪圏と遜色なく実現し、地域におけるAIの利活用やデジタル実装に貢献するため、データセンターの分散立地に向けた政策的支援策を早急に検討。

2030年代のデジタルインフライメージ

